

UACJグループ5つのマテリアリティの達成目標と進捗状況

UACJグループは軽やかな世界を実現するために、これまででも、そして100年先をも見据えて、「サステナビリティ基本方針」のもと、サプライチェーン全体での取り組みを推進し、進捗を確認しながら着実に目標達成に歩みを進めています。

美しく豊かな地球がずっと続く未来へ		緑豊かな青い地球に感謝し、アルミニウムをさらに究めて、持続可能な社会形成に貢献します					
サステナビリティにかかわる重要課題 (マテリアリティ)	対応課題	評価指標	達成目標			2024年度目標	対象範囲
			年度	目標値	ベンチマーク		
 「アルミニウムの循環型社会」の牽引 (サーキュラーエコノミー)	アルミ合金の リサイクル率最大化	UACJリサイクル率 循環アルミ量／溶解炉への装入量 (*純アルミ材を除く)	2050年度	100%	2019年度 65%	73%	板事業 押出・加工品事業
			2030年度	80%			
 気候変動への対応	カーボンニュートラル (CN)への挑戦 (Scope1・2)	Scope1・2 排出量の削減率 第6次エネルギー基本計画に基づき算出	2050年度	カーボンニュートラル 実現	2019年度 原単位	19.1%	UACJグループ全体 (報告範囲) 国内13+海外9拠点 *2023年度時点の対象拠点
	2030年度	30%					
 自然の保全と再生・創出 (ネイチャーポジティブ)	サプライチェーン全体での GHG排出最小化 (Scope3)	Scope3 排出量の削減率 Category1	2050年度	サプライチェーン全体 でのGHG排出最小化	2019年度 原単位 (Category1)	13.6%	UACJグループ全体 (報告範囲) 国内8+海外2拠点 *2023年度時点の対象拠点
	2030年度	30%					
	水の有効活用による 取水の最小化	取水量の削減率 取水は下水再生水含む、工業用水、 水道水、井戸水、地表水を対象	2030年度	25%以上	2020年度 原単位	10%	UACJグループ全体 (報告範囲) 国内23拠点+UATH

誰もが幸せを感じられる 健やかで調和のとれた社会へ		一人ひとりが健康で幸せを感じられるような、そしてそれがすべての人に広がっていくような社会形成に貢献します					
サステナビリティにかかわる重要課題 (マテリアリティ)	対応課題	評価指標	達成目標			2024年度目標	対象範囲
			年度	目標値	ベンチマーク		
 人権の尊重	人権侵害の撲滅	人権デュー・ディリジェンス実施率 人権デュー・ディリジェンスを実施した グループ会社及び拠点等の従業員の総数 ／当社グループ従業員数	2030年度	100%	2022年度 21%	25%	UACJグループ全体
	「グループ行動規範」を 通じたコンプライアンス・ 人権問題の教育	人権の尊重の浸透度 コンプライアンス・人権に係る エンゲージメント調査設問項目の 平均点数	2030年度	3.9 / 5.0満点	2023年度 3.6	3.6超 / 5.0満点	UACJグループ全体 (報告範囲) UACJ本体+国内グループ *エンゲージメント調査対象範囲
 多様性と機会均等の浸透 (DE&I)	ダイバーシティ (DE&I)の浸透	多様性と機会均等の浸透度 ダイバーシティ(DE&I)に係る エンゲージメント調査設問項目の 平均点数	2030年度	3.4 / 5.0満点	2023年度 3.1	3.1超 / 5.0満点	UACJグループ全体 (報告範囲) UACJ本体+国内グループ *エンゲージメント調査対象範囲
	多様な人材の活躍推進	女性管理職比率 役員を除く	2030年度	15%	2023年度 8.5%	9.5%	UACJグループ全体

(注) UACJグループ全体：UACJ連結グループ(※ただし、持分法適用会社、持株会社は含まない)、UACJ本体：(株)UACJ、国内グループ：国内のグループ会社